

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

担当課 高齢福祉課

総合計画 政策の柱	市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	高齢期の生活を充実する	取組の 基本方向	「高齢期の生活を充実する」ため、健康の維持や介護予防の推進による「高齢者の自立促進」、生涯にわたり社会の中で活躍できる機会の充実を図るための「高齢者の生きがいつくりの充実」、住み慣れた地域での自立した生活を支援するための「介護保険事業の充実」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	高齢者が自らの介護予防に積極的に取り組み、住み慣れた地域の中で生きがいをもって、充実した生活を送っています。
--------------	---------------------------	----------------	-------------	-------------	--	------------------	--

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	高齢者の生きがいつくりの充実						④ 施策の達成状況	施策指標(単位)	H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	達成率 (%)		
	②施策目標	高齢者一人ひとりが尊厳を持ち、元気に生き生きと暮らしています。						実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	150.9%			
		③施策を 取巻く環境	国・県等の 動向	県においては平成21年3月「高齢者支援計画(はつらつプラン21)」を策定し、各種施策を推進している。また、平成23年2月に栃木県重点戦略「新とちぎ元気プラン」を策定し、政策の基本「人づくり」の中で、シルバー世代の知恵と能力を活かすことが掲げられた。 今後、団塊の世代が高齢期を迎えるなど、高齢者がさらに増加することに伴い、利用を希望するサービスや参加したい活動などについて、高齢者のニーズも益々多様化することが見込まれる。				指標① (総合計画 に基づく指 標)	-----	400	500	540	560		580	#DIV/0!	
			外部意見 その他	平成20年度に開催した社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会において、団塊・シニア世代の生きがいつくりへの積極的な取組の必要性が指摘された。 平成23年2月、福祉のまちづくり調査特別委員会において、「団塊・シニア世代(生きがいつくり等)対策について」の調査研究が行われ、セカンドライフ支援の一層の充実が求められた。				指標②	-----	435	480	875	-----		#DIV/0!		
						指標③	-----						#DIV/0!				
						指標④ (特記事項)									-----		

⑤ 市民意識調査結果	市民の 施策満足 度	14.7%	市民の 施策重要 度	72.4%	⑥ 施策の 評価	達成度 (単年度目標)	● 達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	みやシニア活動センターにおいて様々な事業を実施し、目標値を上回る市民の利用があった。	⑦ 現状 分析と課題 の抽出 (③⑤⑥を 踏まえた分 析)	成果が 見られる 点	みやシニア活動センター事業により、シニア世代の地域活動等への参加を促すことができた。 高齢者外出支援事業により、高齢者の公共交通による外出機会を確保することができた。
			必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)	● 増加している		横ばい	減少している	説明	豊富な知識や経験を持った団塊世代が定年退職を迎え、市民協働のまちづくりや地域福祉の展開のために活躍できる場が求められている。	改善の 必要な 点	市民ニーズに合ったサービスを提供できるよう、事業を検討していく必要がある。			
			適切性 (適切な事務事業 の選択、実施)	● 十分である		不十分な事業が 一部ある	不十分な事業が 複数ある	説明	みやシニア活動センター事業や高齢者外出支援事業等の高齢者の生きがいつくりに取り組み、多くの市民の利用があり適切に実施しているが、財政事情により一層の事業の選択と集中が求められている。					
			有効性 (政策目標への効果)	● 十分である		やや不十分である	不十分である	説明	各事業で目標に近い実績を上げており有効であると考える。					

3 今後の取組方針

⑧取組の 考え方	総論	高齢化が進行するなか、健康で生きがいを持ち、安心して自立した生活を送ることができる社会を目指す。	➡	⑨政策評価 会議意見	同左
	重点事業	団塊世代を中心とするシニア世代の知識や経験を本市の進めるまちづくりや、地域福祉の展開に積極的に活かすとともに、第2の人生を健康でいきいきと暮らすことができるよう支援する。			
	見直し事業	市単独扶助事業において、市民ニーズを踏まえ事業内容を見直す。			

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H21	H22	H21	H22	重点度 (A~C) ※施策目標 に対する 寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
1	みやシニア活動センター事業 担当課 高齢福祉課	団塊世代を中心とする シニア世代	H20	利用者数(人)	500	540	4,516	3,773	A	継続	シニア世代のニーズを踏まえ、センター事業の充実に向けて検討する。
					480	875					
2	高齢者外出支援事業 担当課 高齢福祉課	70歳以上の高齢者	H15	助成券交付者数(人)	18,200	19,100	47,235	49,096	A	継続	地域内交通の整備状況に合わせ外出支援事業の選択肢に追加するとともに、利用者の利便性向上策を検討する。
					14,874	15,603					

様式 2

3	老人クラブ運営費助成事業	(財)宇都宮市老人クラブ 連合会	S39	老人クラブ数(クラブ)	378	388	25,582	26,239	B	継続	老人クラブ数が目標を下回っていることから、団塊世代をはじめとする新たに高齢者となる者が積極的に参加できるよう、事業の充実・強化に向け老人クラブ連合会を育成・支援する。
	担当課 高齢福祉課				365	362					
4	老人クラブ活動費助成事業	単位老人クラブ	S39	老人クラブ数(クラブ)	378	388	20,559	20,602	B	継続	老人クラブ数が目標を下回っていることから、団塊世代をはじめとする新たに高齢者となる者が積極的に参加できるよう、宇老連を通じて単位老人クラブに働きかける。
	担当課 高齢福祉課				365	362					
5	シルバー人材センター運営費補助金	(社)宇都宮市シルバー人 材センター	S55	受託契約額(千円)	752,900	825,800	46,767	49,540	B	継続	経済状況が悪化しているなか、受託契約額が目標を下回っていることから、契約額の増加を目指し、効果的・効率的な経営の推進に向けセンターを指導・支援する。
	担当課 高齢福祉課				537,071	545,115					
6	長寿祝記念品贈呈事業	80, 90, 100歳 の高齢者	H10	祝金対象者数(人)	4,147	4,395	67,294	70,720	B	見直し	高齢化が進展するなか、市民ニーズを踏まえ事業内容を見直す。
					4,145	4,379					
					59	62					
					66	63					
7	敬老会開催共催負担金	各地区社会福祉協議 会, 75歳以上の高齢者	S57	敬老会招待者数(人)	46,469	47,718	72,558	75,299	B	継続	できるだけ多くの高齢者に参加してもらえよう、他市の取組状況や関係機関からの意見を収集しながら、敬老会のあり方を検討する。
	担当課 高齢福祉課				45,625	47,426					
8	生きがいづくり推進事業派遣事業補助金	ねんりんピックに出場 する本市選手団	H14	選手人数(人)	50	50	227	237	B	継続	他市の取組状況を把握しながら、本市選手の全国大会出場を支援する。
	担当課 高齢福祉課				45	47					
9	高齢者地域活動実践塾の設置	60歳以上の高齢者	H14	実践塾設置箇所(カ所)	4	4	87	0	B	継続	今後の事業のあり方について検討する。
	担当課 高齢福祉課				3	0					
施 策 事 業 費 合 計							284,825	295,506			